



BD LSRFortessa Cell Analyzer 操作説明会

医学研究支援センターでは、BD社のフローサイトメーターLSRFortessa Cell Analyzerを設置しております。本センター設置機は現在最大11カラーの同時解析、また付属HTS (High Throughput Sampler)による多穴プレートからの連続サンプリングも可能な仕様となっております。
本説明会では日本BD社より講師をお迎えし、2日間かけて実機を前にした操作説明を行って頂きます。皆様の参加申込をお待ちしております。

日時：2015年3月2日（月）13:00-17:00
2015年3月3日（火）10:00-17:00

※お申込は2日間全日程に参加できる方に限らせていただきます。
※スケジュールの詳細は次頁をご覧ください。

定員：5名（定員を超える申込があった場合、参加者を調整させていただきます。予めご了承下さい。）

場所：医学部総合解剖センター4F 共用解析室

申込方法：メール。件名に「第111回説明会参加申込」、本文に氏名・所属名（研究室名等）を明記し下記アドレス宛にお送りください。

〆切：2015年2月13日（金）13:00



=== 説明会・機器利用に関する連絡・問い合わせ先 ===

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター（総合解剖センター4階東側）
メール：info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp
URL：<http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter>



案内
HP

連絡用
メール
アドレス

LSR Fortessa トレーニングコース スケジュール

日付	時間	講習項目	内容説明
1日目	13:00-13:30	機器スタートアップ	機器の起動から送液開始までの操作手順の説明と実習を行います。
	13:30-14:00	精度管理：Check Performanceの実行	CSTビーズを使用した精度管理および検出器感度の最適化を行ないます。
	14:00-15:30	FACSDiVaソフトウェアの使用手法. 1	機器調整とデータ表示、およびデータ保存までの流れに関して、ご説明と実習を行います。
	15:30-15:45	休憩	
	15:45-16:40	FACSDiVaソフトウェアの使用手法. 2	データ解析に関して、ご説明と実習を行います。
	16:40-17:00	機器シャットダウン	操作手順のご説明を行います。
	2日目	10:00-10:15	機器スタートアップ
10:15-10:30		精度管理：Check Performanceの実行	CSTビーズを使用した精度管理および検出器感度の最適化を行ないます。
10:30-11:30		FACSDiVaソフトウェアの機能詳細	オートコンペンセーション等のFACSDiVaソフトウェアの応用方法のご説明と実習を行います。
11:30-12:00		データ管理およびAppendix	データ管理およびPCの安定使用方法について学びます。
12:00-13:00		昼食	
13:00-15:00		HTS の使用方法	HTSを使用しての測定方法及びメンテナンスに関してご説明します。
15:00-15:15		休憩	
15:15-16:00		メンテナンス	機器を安定に使用するためのメンテナンス方法について説明します。
16:00-16:20		精度管理：Define Baselineについて	CSTビーズを使用して、機器の基本性能データの取得方法をご説明します。
16:20-16:40		Q & A	使用方法に関してのご質問をお受けします
16:40-17:00		機器シャットダウン	操作手順の実習を行います。

※. スケジュールの進行は、状況により前後する場合がありますのでご了承ください。